

会報

会費振込先 第一勧銀川崎支店東北大学ワンダ-フォーゲルOB会 普通口座(370-1881604)

中央アルプス紅葉狩り

26期OB山行

87年卒 伊田浩之

現在20代と30代が混在している我々26期11人が、毎秋の山行を恒例として3年たった。泊まる山小屋だけを決めておき、休みが合ったもの同士が好きなルートから登という単純な形態。一昨年は妙高、昨年は穂高。仕事が忙しい1、2人が来れないだけで、参加率は高い。今年は9月24日(金)に錦秋の中央アルプスを訪ね、頂上木曾小屋で大酒をくらった。

私は、長谷川と2人で空木岳(2864m)から縦走した。長谷川は、化学会社勤務で横浜の独身寮住まい。1年後輩の品川、2年後輩の岩村を同じ会社に引きずり込んでいる。地方紙の記者をしている私とは、「1990年幕開きを告げる石槌山(西日本最高)の日の出」の取材のとき、1年後輩の正田とともに同行してもらったなど、腐れ縁が続いている。

23日早朝、夜行列車を乗り継いで長谷川と合流、JR駒ヶ根駅に降り立つ。山はガスっているが、タクシーをひろって林道終点へ。空木山頂から東に伸びる池山尾根は単調な登り。合羽をつけ標高差1400mを黙々と歩く。現役時代より20キロ太った伊田はばてたが、憐れんでいるためか長谷川はそのことに触れようとしない。空木カールは一面の紅葉、白い河原との対比が美しい。稜線に出ると、あられまじりの強風が吹き付けており、逃げ込むように木曾殿山荘に入った。

24日は風が冷たいものの気持ちがよい晴天。中アの主峰・駒ヶ岳(2956m)まではエリアマップのコースタイムで8時間あるため、早々に小屋を発つ。南アルプスの山々や富士山が遠望でき、非常に気持ちがよい。

千畳敷カールに近づくと、ロープウェイの終着駅で流す音楽が聞こえ始める。あつかましく感じながら、宝剣岳(2931m)山頂へ。30分ほどぼーっとしていたら、北村、松沢、森、森川の4人が上がってきた。静岡で建築の仕事をしている森川は単独行動。「後ろからうるさい奴らが来たな」と振り返ると、東京の3人組がいたそうだ。

「Be Pal野郎」(同名の雑誌に出ているようなアウトドア生活を好む人間)になりつつある松沢が早速コンロを出し、慣れた手つきでコーヒーを入れ始める。松沢は、勤め先のカメラ会社でマウンテンバイクを何人かに買わせたが、誰も一緒に林道に行ってくれなかったそうだ。「雑誌はうそつき。マウンテンバイク好みのギャルなんていねえ」と一時期むかついていたらしい。ま、伊田も「スキューバダイビング始めたのにギャルがない」とむくれぎみだったから、人のことは言えない。

山以外のアウトドアスポーツといえば北村や森はカヌーにも凝っている。フィルム会社で研究をしている森は、ニュージーランドでカヌーをするなど遊び歩いていたが、7月に結婚。子供が産まれることも決まっている。普段着のような格好で登ってきたため、ユニフォーム姿の伊田や長谷川にからかわれたが、本人に言わせると「最新の素材を使ったちゃんとした山用品」だそうだ。

宝剣岳のピークはちょっとした岩峰。千畳敷カールを見おろすとかなり高度感があるが、座布団1枚ぐらいの広さしかない岩稜の上に、北村は軽々と立ち上がる。さすが建設会社の現場担当、と妙なところで感心した。

なだらかな木曾駒をのっこして小屋に入ると、小松と平田がいた。この2人は昨年、上高地から西穂高山荘まで歩いて登ったが、にわか雨のとき小屋でビールを飲み、西穂高岳に登らなかつたため、皆からさんざん馬鹿にされた。今年も下から歩いて登る計画を立てたが、ビール会社営業の平田が、秋田から大阪に10月1日付けで転勤となるため、ロープウェイに切り替えた。頂上木曾小

屋へは木曾駒山頂を通らない巻き道もあるが、何を言われるかわからないのでピークを踏んだそうだ。2人とも経済学部。すでに長男がおり、嫁さんが初任地の社内の女性というのも一緒。鉄鋼不況に苦しんでいるはずの小松は「大変だよ」と言いながら、相変わらずにここにしている。

8人がそろったところで宴会に移った。みんなのザックから酒が次々と出てきて、大いに盛り上がる。小屋から眺める夕焼けも山肌を赤黒く染め、印象的だった。

翌日は快晴。木曾駒山頂でのんびりパノラマを楽しむ。大ニ酔いで話すのさえ億劫な小松と、大ばての伊田、怠け者の長谷川、平田の4人は宝剣ピストン後ロープウェー駅へ。元気者の4人は稜線に点在する池めぐりに向かった。カールの底へは日本三大馬鹿下りと言えるような急坂。長谷川が、ばてながら登っている50代の女性に「上まで行かないと一生後悔しますよ」といらぬことを言う。下山後は温泉宿で疲れを癒すのも慣例となっているが、伊那谷には温泉が無いためこの日は、料亭旅館に泊まった。信託銀行の仕事がどうしても忙しいと説明する佐藤が宿で合流。松茸の焼物をはじめ予想以上のご馳走に驚きながらも、連日の大宴会となった。

この日の相談で、来年の目的地は「加賀白山」に決定した。今度はロープウェーがないので少しシビアな山行になりそうである。まだ我々の間では近い将来、前後の代にも声をかけ、二口で一大OB山行を企画しようかという夢も膨らんでいる。

(追記) 今回山行に参加できなかった荒田と小泉。急な研修が入ったという荒田は大阪の大手電機会社で経理を担当、1女をもうけている。経済学部の他の2人と同様、職場結婚である。石油会社勤めの小泉は、職場異動で大忙しだったらしい。大型二輪の免許を取得しており、一息ついた11月下旬、逆輸入の千ccにまたがり四国に遊びに来た。日本一長い愛媛県三崎半島先端の民宿に伊勢エビを食いに行ったが、狭い道の運転は大変そうだった。

(事務局より) 昔は毎年OB山行を行っていました。最初の頃はみんな一人で来ていましたが、そのうち子供(赤ん坊)連れがちらほら現れ、蓬峠や三斗小屋には6,7人の子供が集まりました。若手の力でぜひOB山行を復活させて下さい。

入笠山(73年)、平ヶ岳(74年)、谷川岳~平標山(75年)、西丹沢、北八ヶ岳(76年)、南ア広河原(77年)、西丹沢、八ヶ岳行者小屋(78年)、谷川連邦蓬峠(79年)、那須岳三斗小屋(80年)、吾妻連邦谷地平(81年)、八ヶ岳赤岳鉱泉(82年)、北八ヶ岳山麓伝蔵荘(85年)、北八ヶ岳山麓伝蔵荘(86年)

おめでとうございます == 禄弥先生 勲二等受賞される!! ==

11月3日に行われた秋の叙勲において、ワングルの初代部長をなされた鈴木禄弥先生が、勲二等旭日重光章を受賞されました。永年にわたる民法の研究の業績が高く評価された結果です。本当におめでとうございます。


ワングル卒業生の中には、先生の講義を聴いた人はほとんどいないのが残念です。それでも、最終合宿には奥様と一緒に参加されるなど、懐かしい思い出が残っています。

今年度の新年会には先生にぜひご出席いただき、先生の受賞をお祝いするとともに、50過ぎから20代までのOBが毎年集まってどんなことをしているのか、見ていただきたいと思います。

(「新年会と禄弥先生を祝う会」の案内は最後のページ)

地道な研究を
今後も続ける
勲二等旭日重光章
東北大名譽教授
鈴木 禄弥さん(モ)
仙台市青葉区八幡一
ノ四ノ二四

道に研究を続けています。今では週の前半を東京で過ごし、東海大で法学部長を務める傍ら講義も行う。法律も時代とともに変化します。製造物責任(P.L.)法など新しいものもついていかなければ」と気力もまだ十分だ。



で、国民の生活がスムーズに営まれるよう

あの人は今・近況報告

BONNE ANNEE !

新年明けましておめでとうございます。

謹賀新年

ワングル新年会は残念ながら欠席させていただきます。

皆様にはお元気に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素の御無沙汰をお詫び申し上げます。近況報告に替えて『平成4年の自己ギネス』を発表させていただきます。

★読書 文庫本125冊読破、1日100頁以上年間3万7千頁達成。少しやり過ぎ。

★ジョギング 近所のグラウンドで103km走りました。体重減らず、本年は150km。

★水泳 目標50kmに対し31kmで反省。健康維持にはベストなので本年こそ50km達成。

★バードウォッチング 新らしい趣味として開始約40種の鳥を観察しました。BWも結構お金のかかる道楽です。

★ゴルフ 2度目のホールインワンに向けて12年以上挑戦していますが、最近ワンオンが難しくなりました。

★漢詩鑑賞、切手収集、パソコン、英語スペイン語ポルトガル語 暇とお金を見つけて、ほどほどにやっています。

★仕事 不景気の中、真面目にやっています。
平成5年 元旦

今年の正月は家族と一緒にアルプスのスキー場で迎えました。

ほぼ、20年ぶりに板に乗りましたがなんとか昔を思い出して滑ることが出来ました。

標高差500メートル、もし転倒すればそのまままでバウンドしながら空中落下（滑り落ちるのではなく）という大急斜面もなんとか滑ることが出来、自信を取り戻しました。一緒に滑っていた人が転倒し200メートル以上落ちましたが幸い怪我も無くすみました。ブッシュにひっかかたスキーヤーを救援にやってきたヘリコプターが目の前に急降下して、その強風でバランスを崩しそうになったこともありました。しかし、こんな斜面でもストックなしのスノーボードでビュンビュン滑っていく連中がたくさんいるのには驚きました。

今シーズンは天候に恵まれ、雪が降るといふ事はありませんでしたが標高3500メートルのグレンデの上部に登ればモンブランの大きなドッカーリとした姿を楽しむことが出来ました。

2月にはスイスのジュネーブに10日間の出張がありますが残念ながら町のホテルに缶詰めです。子供達は2月にスキー休みがあり、学校から1週間のスキー旅行に出掛けるのを楽しみにしています。

去年は休暇でスコットランド（ネッシーの小便の橋ター部/ネス湖の水をなめてきました）、アルプス、仕事で白夜の北欧、ネズミやカタツムリを食べたナイジェリア、ユーラシア大陸の最西端のロカ岬（会議の合間に駆け足で行って来ました）へ行く機会がありましたが、今年はエジプト、東欧に行ってみたいと思っています（本当に仕事をしているのだろうか？）



〒312 勝田市石川町26-11
TEL 0292-76-2972

多田恒雄

勤務先 (株)日立製作所素材事業部
勝田製造本部
多田恒雄 TEL 0292-73-4111

いつものことながら会報をありがとうございます。会費も払わずほとんど便りもしない不良会員ですが会報はとても楽しみです。

私は、県境に白神山系や和賀・真昼山系のあります秋田で、ワグナーフォーゲル部の顧問もどきをしております。近年、「岩魚さん」との連絡はとだえがちで「山の神さん」からはこの冬おいでよと聞こえるものですから、「温泉付別荘」でもかりきってスキー合宿をと学生にたき付けているのですが、

通年自転車で元気してます。

YULCHI OHARA
21, RUE BARGUE,
75015, PARIS
FRANCE

TEL: (0) 43 06 81 92

010-14

(住居表示変更) 秋田市仁井田本町3-28-14

館岡 淳 (昭和37年入学)

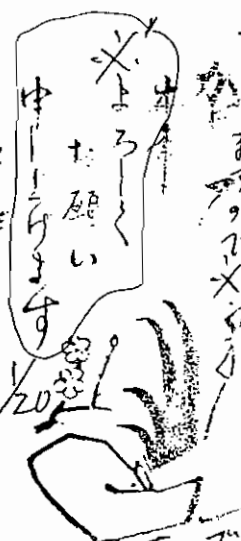


ニハタにたまあ、
 いつもお手紙がけてあまむし、
 四国の高松へ来て、1年余り過ぎました
 相変わらず気楽に楽しんでやります、
 四国勤労は始めてです。単身で
 週末の暇つぶしにサイクリングを
 やってます、
 5月の連休には、四国を一周(900km
 足らず)し、その後たまたまエポック
 に、最近では、高松-高知-徳島、
 高松-高知-松山、等々色々な
 走り400kmを2日で走ってます
 建設者で管理(711号国道を
 自転車で行き廻る)のこの道路の
 管理担当の取扱は先感なおります、
 高松に来られる機会があったら
 お立ち寄り下さい。 草倉 (41年卒)

(高松市)

このところしばらく山から離れていまし
 ましたが、この春トレッキングシューズを
 買い、この夏物置にあった登山靴に油を塗
 りました。26期の山行にあわせて中ア
 に登ろうかとも思ったが、一歩がなか
 かなか出ない。
 この夏、会社の同僚(山形大ワングル)
 に夫婦で誘われ、西伊豆からクルージ
 ングしました。台風の影響で、石廊崎沖
 では強烈な向かい風にあおられ、頭
 のてっぺんからの強烈なシャワーの連
 続でした。とうとう下田でダウン、ヨ
 ットを置いて電車で帰りました。
 最近では毎週三浦半島の先端に出か
 け、水彩スケッチを描いています。以
 前は、山に比べて海は変化に乏しい
 と思っていましたが、スケッチをする
 ようになって、刻々と光が変化し、同
 じ海でもいろいろな表情を持っている
 ことが分かりました。来年は山のス
 ケッチ(麓ではない)を描きたいと思
 っています。
 (44年卒) 佐藤拓哉 (横須賀市)

本日 母校長岡高校の同窓会総会に参り
 不はう私も副会長という事で残念な
 欠席
 でした。20年同山らしい山はた
 いかい山頂近くまで
 車というていたくですか、雪国
 校長岡です。で
 スキーは年々回位はるもなり
 3/23 岩井勝さんです。



※ 祈る会は必ず参出願し
 S47年卒の池田重則
 がおられます。元
 ありかとうござい
 ます。

(47年卒) 池田重則
 (長岡市)

去る11月1日、平成元年卒業の
 岩井勝さんがご逝去されました。
 仙台のアパートでの突然の出来事
 だったとのこと。
 ここにお知らせをするとともに、
 ご冥福をお祈り申し上げます

新年会と禄弥先生を祝う会のお知らせ

新年会は毎年1月の最終金曜日に行っていましたが、今回は鈴木禄弥先生の叙勲をお祝いする意味で、ぜひ先生にご出席いただきたく、日時を次のように変更しました。

1月22日(土) 午後6時より

場所は例年のとおり、新橋駅のすぐ近くにある新橋亭(しんきょうてい)です。皆さんお誘いの上ご出席下さい。特に、若い人の出席は大歓迎です。会費は12000円位の予定です。

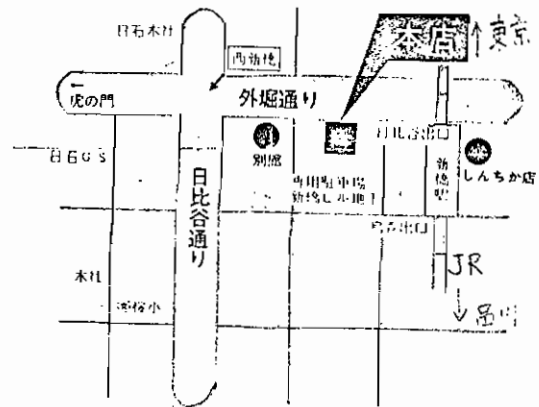
遠くの方でも、東京に出張などで来るような場合には、ぜひ出席して下さい。飛び込み大歓迎です。反対に、出席ということになっているのに、当日欠席される方も結構います。これは本当に幹事泣かせです。予定が変わった時は、早めにご連絡下さい。

問い合わせ、連絡先 佐藤拓哉 Tel 0468-41-8622

平成4年新年会出席者

- (S39) 大津満、後藤龍男、松木功 (S40)
 秋葉晃介、及川捷悦、島崎質、緑川学 (S41)
 渋谷尚武、瀬尾勝之 (S42) 恩田達也、加藤邦明
 堤正尚、西健、山田信行、渡辺文隆、青木祐二
 (S43) 石川誠之、金子清敏、真尾征夫
 (S44) 相原敬、石井良知、小笠原弘三、佐藤拓哉
 濱聡、水上俊彦 (S45) 石野好昭、伊藤千代子
 富川正夫、原田博夫、桃谷尚安 (S46) 薄木三生
 甲斐利春、浅野孝夫、菅原英行、高野秀夫、杉森一太
 高木良博、田中康則 (S47) 秋田修、池田重則
 仁藤祥一 (S48) 神山文範、松井一昭 (S55)
 板橋正之、川島芳之、須々木裕太 (S56) 阿部享
 (S59) 伊藤陽介 以上48名

中国料理 **新橋亭**
 本店 東京都港区新橋2-6-3 〒105
 TEL (03)580-7811
 年中無休 12:00P.M.~9:30P.M.



平成4年1月~12月会計報告(東京口座)

収 入	
繰越金	586,235
OB会費	15,000
利 息	5,427
計	606,662
支 出	
会報N023号	39,137
新年会案内	1,364
事務通信費	2,000
送金代	618
次年度繰越	563,543
計	606,662

★★ 編集後記 ★★

- ◇会報24号をお届けします。今回は、こちらが原稿をどうしようと悩む前に、同期会の報告が飛び込んできました。こういうことは幹事を非常にハッピーにさせてくれます。
- ◇近況報告を何人かの方をお願いしていますが、近況を送って下さるのは、いつも1/3程度です。「忘れる前にポストへ」よろしくお祈りします。
- ◇バックナンバーを希望の方、ご連絡下さい。大昔のもの(当然手書き)もあります。
- ◇年会費は1000円です。1ページ目の口座に振り振り込んで下さい。最近、新年会に参加した人から集めているだけという状態が続いていましたが、昨年の新年会から集めるのを止めました。皆さん、ご協力お願いいたします。